なぜ若者に伝わらないのか

E1J!N-17　東北福祉大学

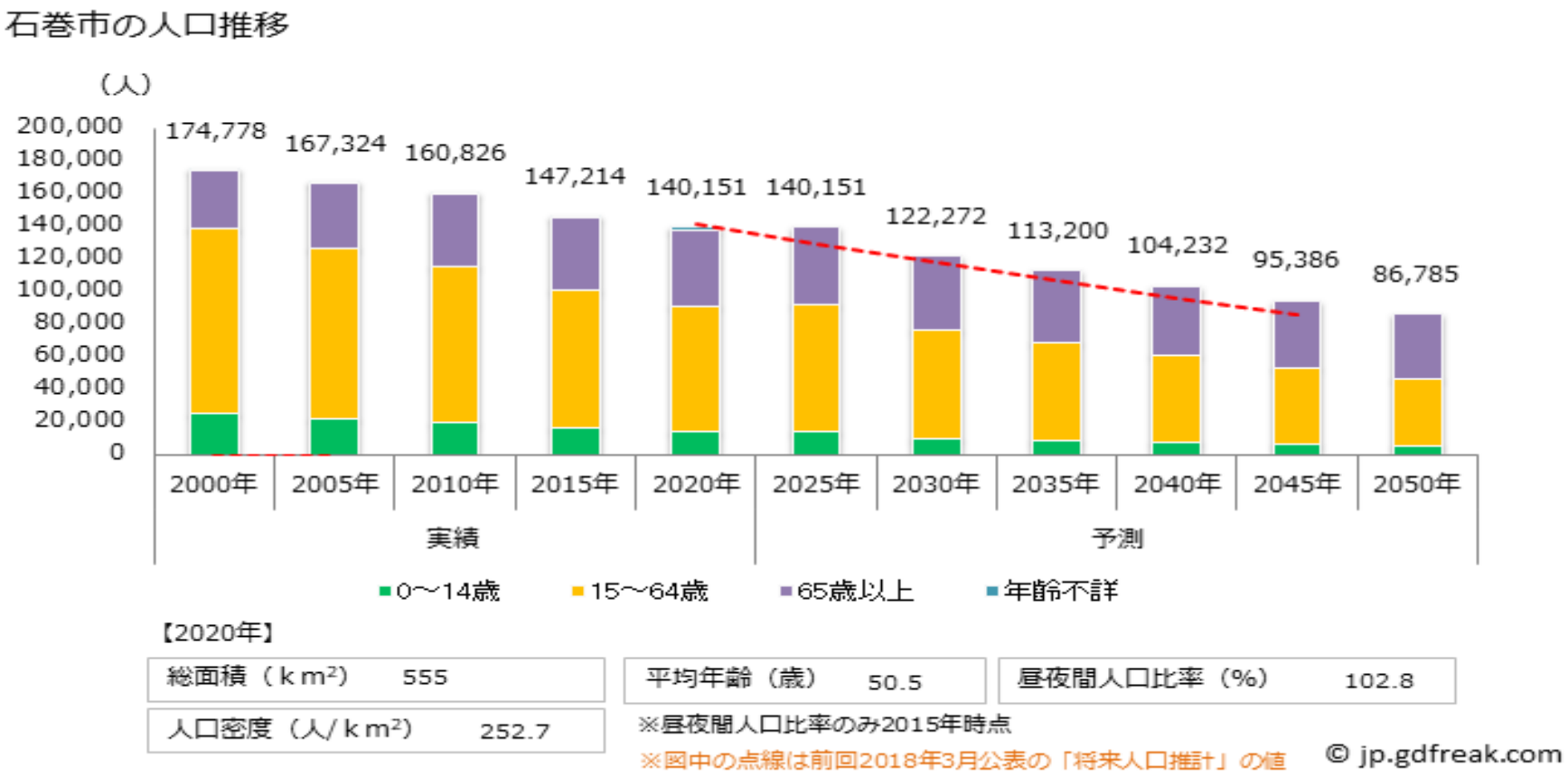
佐藤優太　小野寺優人　原悠悟　佐藤大成　安彦颯

私たちは**地域の運営会社**として、
若者と企業とのイベントを立ち上げたいので、
市町村へイベント会場の提供を希望します

私たちが解決したい課題は

若者の流失からくる生産年齢人口の減少

石巻の生産年齢人口の推移



（出典）：グラフで見る！石巻市の人口推移
https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp01005000001004202/1

若者の流失からくる生産年齢人口の減少

↓

原因：若者が自ら知ろうとしない

フィッシャーマン・ジャパンや
まちひとワークスのような企業
↓

面白いのに知らないままでいいのか

興味を持ってくれる学生を増やしたい

若者の意識を変革することはかなり難しいことであり、ほぼ不可能。

若者が考える若者が参加しやすい形の企業と学生をつなげる取り組みを行う

↓

石巻の企業に興味を持ってくれる学生を増やす。

課題解決の必要性と実現したい未来

解決できないと？

若者の流出→生産年齢人口が減少→人口の減少→労働力・消費力の低下→企業の利益減少→企業の減少→石巻の魅力低下→若者の流失・・・

最終的には限界自治体となり、消滅、、、

もし課題解決できたら？

課題解決をすることによって人口減少の速度が減衰して現段階よりも長く未来の世代につなげることができる

私たちがやりたいこと

石巻もぐもぐ未来サロン！！

石巻の企業・行政と学生をつなぐ会！！

東北福祉大学を**拠点**として活動していく

理由：ゼミを通して、キャリアセンターに属しているゼミの先生の協力も得られる。

→大学を巻き込むことで、多くの学生に参加してもらえるのでは

概要

「対象者」

- メリットがあれば来てくれる学生

「学生のメリット」

- 石巻の水産物がもらえる
- 参加料無料
- 先輩の話を聞くことができる

⇓

学生にとって無料というのはとても魅力

「対象企業」

水産業、看護、教育、医療関係、非営利団体、

民間企業、、、

→東北福祉大学には共生まちづくり学科がある

「企業のメリット」

・大学と連携して若手人材と関わる機会ができる

・学生に企業のこと知る機会ができる

→企業をまとめたパンフレットを配布

・企業の参加費無料

パートナー連携案

目を向ける職業として

→地域に関わるさまざまな職業

水産業を中心に、 行政、看護、 教育など

連携させたいこと

・企業の社員が講師となり、仕事やキャリアについて話す

・企業と大学をつなぐコーディネート

・イベント会場を提供してほしい

→試食会の会場や公共施設の提供

若者が楽しみながら地域について知れる連携案を示したい

未来と人と地域

１年目の活動内容

東北福祉大学の学生を中心に、

・大学でコミュニケーションの場を設営

・食事会などのイベント主催

2年目以降の活動内容

・東北福祉大学を含めて、石巻圏域まで活動規模の拡大

　➡１年目の東北福祉大学だけでの活動内容の共有

・行政機関の活用による情報発信の強化、イベント会場の提供

まとめ

課題発見として

・生産年齢人口の減少が加速している

・若者が情報の受け手としての意識改革

「企業や行政との連携」

➡これからの未来を担っていく若者のための機会を設ける

そこで・・・・

大学生が中心のコミュニティを様々な場面で作ろう！！！

若者の気持ちを動かしたい

ご清聴ありがとうございました。